

アセットマネジメント One オルタナティブインベストメンツの
フィデューシャリー・デューティーの実践に向けた
2018年度アクションプランの取組状況、および2019年度アクションプランについて

～お客さま本位の業務運営の徹底～

アセットマネジメント One オルタナティブインベストメンツ株式会社（以下「当社」）は、アセットマネジメント One グループの一員として、株式会社みずほフィナンシャルグループ（以下「FG」）が定める『くみずほ』の企業理念』ならびに第一生命グループが定める『第一生命グループの理念体系』を踏まえた「アセットマネジメント One の企業理念」を採択しています。同企業理念において「お客さま信頼度 No. 1」「最高水準の商品・サービスを提供」「グローバルトップレベルの資産運用会社へ」をビジョンとして定めるとともに、当社は当該ビジョンの実現に向けて高度な専門性に裏付けられた運用力を生かして、フィデューシャリー・デューティー^{*1}（以下「FD」）を全うすべく、お客さまの多様なニーズへの的確な対応や、最高水準のソリューションを提供する取り組みを行っております。

当社は、資産運用関連業務に関する FD の実践に向けた対応を強化する観点から、FG が策定した「くみずほ」のフィデューシャリー・デューティーに関する取組方針」（以下「取組方針」）を採択するとともに、取組方針の実践に向けたアクションプラン（以下「アクションプラン」）を策定・公表しております。

2018年度アクションプランの取組状況、および2019年度アクションプランについて以下の通り公表いたします。

- 運用・商品開発機能
 - I. 2018年度アクションプランの取組状況
 - II. 2019年度アクションプラン
- グループ管理方針

なお、当社は、金融庁が2017年3月30日に公表した「顧客本位の業務運営に関する原則」の7つの原則全てについて採択をしております。

^{*1} 他者の信認に応えるべく一定の任務を遂行する者が負うべき幅広い様々な役割・責任の総称

運用・商品開発機能

1. 2018 年度アクションプランの取組状況

当社は、アセットマネジメント One グループの一員として、またオルタナティブ投資のゲートキーパーを営む資産運用会社として、今後もお客さまの立場に立った施策を実践してまいります。

以下では、取組方針に基づき設定した運用・商品開発機能に関する 2018 年度アクションプランの取組状況について、お客さま本位の業務運営の状況を確認するための定量指標 (KPI) を含め掲載いたします。

【アクションプラン項目】

1. 運用の高度化
2. 商品品質の向上とお客さまニーズを捉えた商品開発に向けた不断の取り組み
3. お客さまの立場に立った情報提供やサービスの充実
4. ガバナンス強化

FD の実践

1. 運用の高度化

アクションプラン

- 商品や運用を通じてお客さまに高い付加価値を提供し続けるため、事業の維持・強化に資する施策を継続します。
- お客さまの資産運用ニーズに対する最適なソリューションを提供し続けるため、調査・運用力の改善・強化を推進します。

アクションプランの取組状況

- ・ 運用プロセスの改善やファンドに対する深度ある調査を行うことで、調査・運用力の強化を進めました。当該調査力を活用した、主に海外運用会社・ファンドに対する運用・オペレーション等に関する詳細なリサーチに基づいて優良な運用会社の発掘に取り組んでおります。
- ・ 当該リサーチがお客さまに対する適切な商品・情報の提供につながることから、ファンドリサーチ件数を KPI として採用しており、2018 年度は次ページ表の通り、997 件のリサーチを実施いたしました。引き続き当社の強みである高い専門性を活かし、お客さまに最適な運用商品・ソリューションを提供してまいります。

【KPI 項目】 ファンドリサーチ件数

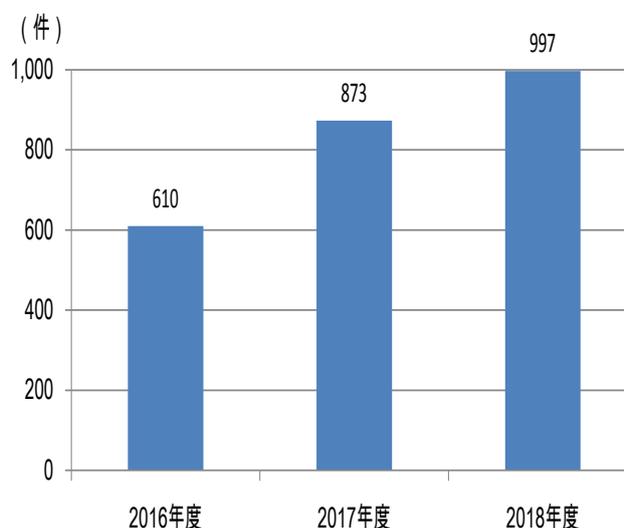
ファンドリサーチのイメージ

海外運用会社

資産運用・オペレーション等に
専門能力を持つ担当者が運用
会社をリサーチ・モニタリング

アセットマネジメント One
オルタナティブインベストメンツ

リサーチ結果を踏まえ、お客さまへの
紹介の実施・継続を決定



2. 商品品質の向上とお客さまニーズを捉えた商品開発に向けた不断の取り組み

アクションプラン

- お客さまの長期投資に資するべく、商品品質の維持・向上に向け適切なリスク管理やモニタリングを行います。
- 透明性の高いプロセスにより運用報酬を決定する等して、お客さま目線に立った商品開発を推進します。

アクションプランの取組状況

- ・ 運用リスク管理の高度化を目指して、組織面、人員面での管理態勢の強化を実施いたしました。今後も適切なリスク管理やモニタリングを実施すべく継続して努力してまいります。
- ・ お客さまの長期投資ニーズを踏まえ、当社が選定したヘッジファンドを組み入れるお客さま向け SMA^{*2} に続いて、複数のヘッジファンドに投資する US ドル建てのファンド・オブ・ヘッジファンズを新たに設定しました。

*2 Separate Managed Account : 個別のお客さま向けの独立した投資口座

- ・ 当該ファンド・オブ・ヘッジファンズでも、当社が選定したヘッジファンドの運用結果から生じる実績に応じた報酬を受領する成功報酬制度を織り込みました。これにより、残高のみに基づく報酬受領体系と比較して、お客さまと当社の利害関係の一致がより一層深まりました。
- ・ また、お客さまの長期投資ニーズを踏まえた、本邦初となる海外プロジェクトファイナンスのシニアローン投資対象とするファンド「Cosmic Blue PF Trust Lily」に続いて、第2号ファンド「Cosmic Blue PF Lotus FCP-RAIF」を組成しました。
- ・ 引き続き、当社の長期にわたる投資に対するリスク管理・モニタリング能力を活用し、お客さまに多様な投資機会を提供すべく新たな商品開発を進めてまいります。

3. お客さまの立場に立った情報提供やサービスの充実

アクションプラン

- お客さまのオルタナティブ投資のゲートキーパーとして、お客さまにとっての分かりやすさを意識した情報提供やサービスを充実させ、情報コンテンツ等の品質向上を目指します。

アクションプランの取組状況

- ・ お客さまにとって分かりやすい資料をご提供できるよう、商品の説明資料では図やグラフ、説明文の内容を工夫し、お客さまの理解を促進できる資料作りに努めました。

4. ガバナンス強化

アクションプラン

- フィデューシャリー・デューティーに則り、お客さまの利益を第一とする経営体制の維持・向上に取り組めます。

アクションプランの取組状況

- ・ お客さまの利益を第一に考え、お客さま本位の業務運営の更なる向上のため、利益相反管理の高度化を進めておりますが、その一環として、みずほ銀行が保有する資産を組み入れたファンドへの投資を含め、利益相反管理の対象となる取引を明確化し、管理する仕組みを構築しました。

お客さま等の支持・評価

- ・ 当社は、オルタナティブ投資のゲートキーパーとして、投資家の目線に立った取扱いファンド選定や投資判断の提供を通じ、常にお客さまのニーズに寄り添う運用サービスの提供を行い、お客さまからのご支持をいただけるよう心がけております。
- ・ 厳しい商品選定プロセスが必要な金融法人や年金基金等、機関投資家のお客さまを中心に、お客さまのご支持が 2018 年度においても順調な契約資産残高・投資家数の増加に結びつきました。

成果

- ・ 中長期でリターンを生み出し、お客さまに信頼される商品の提供など、真にお客さまが満足する商品・サービスを提供し続けることが、お客さまからの支持・評価に繋がり、結果としてお客さまからの預り資産が増加するものと考えております。
- ・ お客さまからの支持・評価の表れである成果として、契約資産残高を KPI として設定し公表しています。

【KPI 項目】 契約資産残高

- ・ お客さまの中長期的な資産形成に資することを目指し、お客さまの資産価値の時価変動も含めた契約資産の時価残高を指標として採用しました。
- ・ 2018 年度については、お客さまのニーズに沿ったあらたに設定された商品をはじめ、複数の商品が残高の増加に貢献しました。



II. 2019年度アクションプラン

【アクションプラン項目】

1. 運用の高度化
2. 商品品質の向上とお客さまニーズを捉えた商品開発に向けた不断の取り組み
3. お客さまの立場に立った情報提供やサービスの充実
4. ガバナンス強化

1. 運用の高度化

アクションプラン

- お客さまへ持続的に高い付加価値を提供するため、運用専門人材の採用や戦略的育成を行い、投資判断と分析力の高度化を推進します。
- お客さまの資産運用ニーズに対する最適なソリューションを提供するため、運用高度化に資する取り組みを推進します。

2. 商品品質の向上とお客さまニーズを捉えた商品開発に向けた不断の取り組み

アクションプラン

- 商品特性と想定されるお客さま属性を明確化し、グループ会社と連携してお客さまにふさわしい商品を提供します。

3. お客さまの立場に立った情報提供やサービスの充実

アクションプラン

- 市場環境変化に伴う、多様化する機関投資家のお客さまニーズに対し、タイムリーな金融市場情報の提供を実施します。

4. ガバナンス強化

アクションプラン

- 取締役会をはじめとする経営政策に係る委員会におけるガバナンス態勢の機能により、グループ会社との間の適切な経営の独立性を確保・維持します。
- お客さまのニーズに適う商品開発のため、透明性の高い新商品開発プロセスの維持・向上を図ります。

グループ管理方針

当社は、アセットマネジメント One グループの一員として、またオルタナティブ投資のゲートキーパーを営む資産運用会社として、今後もお客さまの立場に立った施策を実践してまいります。

グループ横断での取り組みが中心であるグループ管理方針に関する 2018 年度アクションプランの取組状況、および 2019 年度アクションプランについては、FG より公表を行っております^{*3}。

^{*3} FG のフィデューシャリー・デューティーに関する「2018 年度アクションプランの取組状況および 2019 年度アクションプラン」について

(URL) <https://www.mizuho-fg.co.jp/company/policy/fiduciary/pdf/actionplan2019.pdf>

- ・ 本記載は、投資勧誘や特定銘柄を推奨するものではありません。
- ・ 掲載のファンドがお客さまの投資目的、リスク許容度に必ずしも合致するものではありません。また、今後の運用成果を予想または示唆するものではありません。

以 上